

文化遺産国際協カコンソーシアム ロゴ・マーク



JCIC-Heritage

■シンボルマーク デザイン制作意図

国際交流への羽ばたき

このデザインモチーフは花をくわえた「花喰鳥」とした。これは天平文化を代表する絵柄の一つである。花喰鳥の源流は、シルクロードを逆のぼり旧約聖書に登場するオリーブをくわえた鳩に至るという説がある。いわば、大いなる時空を越えて日本に舞い降りたこの鳥こそ、地球規模の交流の象徴であるといえる。文化遺産国際協カコンソーシアムが掲げる文化遺産保護のための活動は、地球規模の交流・連携・協調に資するものであることから、このモチーフを取り上げ意匠化した。周縁にあしらった八方形は、日本に古来から伝わる方位を示す「かたち」であり、全方位、すなわち世界各地との広く公平な交流・連携を表している。

使用する色彩は、日本の伝統色を持って、ふさわしい色彩とした。